

**令和7年度
第3回豊川市社会教育審議会
会議録**

令和8年3月5日（木）開催

日時：令和8年3月5日（木）午後2時 開会
会場：豊川市音羽文化ホール 大会議室

出席委員（敬称略）

会 長	細 野 文 治	
副会長	穴 吹 富貴子	
委 員	山 口 敏 二	
委 員	三枚堂 陽 子	
委 員	小 嶋 良 夫	
委 員	神 谷 美也子	
委 員	米 野 美 奈	
委 員	大光明 隆 見	
委 員	志 村 貴 子	
委 員	田 中 康 夫	以上10名

※ 委員13名のうち、10名が出席のため、会議開催の定足数である2分の1以上の出席者を満しているため、会議成立。

事 務 局

教育長	大 江 孝 一	
教育部長	高 橋 純 司	
教育部次長	星 野 光 広	
教育部次長兼中央図書館長	坂 田 憲 美	
中央図書館主幹	渡 邊 里 恵	
スポーツ課長	二 村 崇	
生涯学習課長	渡 邊 寿 彦	
〃 課長補佐	早稲田 浩 介	
〃 生涯学習係長	太 田 亜貴子	
〃 主事	流 川 大 地	以上10名

議 題

- 1 第3次豊川市生涯学習推進計画の1年延伸について
- 2 令和8年度教育委員会（社会教育）の予算概要（社会教育関係団体補助事業）及び主要事業について

(午後2時00分 開会)

「事務局」 皆様、大変お忙しい中をご参集いただきましてありがとうございます。定刻になりましたので、ただ今より、令和7年度第3回社会教育審議会をはじめさせていただきます。

それでは、始めに細野会長よりご挨拶をお願いいたします。

「会長」(あいさつ) アメリカ、イスラエルとイランの戦争が始まり、この先、世の中は一変してしまうかもしれないと非常に不安に感じている。戦争のない社会にしていかなければならないと改めて強く思った。社会教育委員調査研究では、数回に渡り赤坂の舞台の小屋掛け作業を見学し、10月26日には初めて本番の公演を見せていただいた。当日は小雨が降っていたので、文化ホールでの開催となってしまうかと思ったが、雨対策がされており、小屋掛けをした赤坂の舞台で公演を見ることができた。公演では、会場の観客と演者が一体となるような熱気を感じ、深く感動した。そのほか、前回の本審議会以降に東三公連合同の研修会や県の愛知・地域づくり推進大会があった。それぞれに参加された委員の皆様、ご苦労様でした。来年度の後期研修会では、豊川市が発表することになっているので、都合の付く委員の皆様はぜひ参加していただきたい。本日は令和7年度の最後の審議会である。皆様の活発なご意見を伺いながら進めたいと思うので、よろしく願います。

「事務局」 ありがとうございます。続きまして、大江教育長より挨拶を申し上げます。

「教育長」 本日の議題といたしましては、第3次豊川市生涯学習推進計画の1年延伸について、それから令和8年度の教育委員会の社会教育の予算概要と主要事業について、事務局の方から説明させていただきます。

つい先日まで、朝にテレビをつけると冬季オリンピックの結果がよく放送されており、多くの日本人選手が活躍していました。その中で、冬季オリンピックでメダルを取る選手は、東海地方に大変多いということを改めて実感しました。また、昨日で市議会の一般質問が終わりましたが、その中で社会教育に関わる質問がありました。1つがスポーツ振興計画について、もう1つが読書に関する事で図書館に関わる質問でした。質問を受けると、回答を準備するのは大変ではありますが、社会教育に関わる取り組みをアピールできるよい場ではあるので、スポットが当たったよい一般質問だったと思っています。

最後になりますけども、穴吹委員と山口委員におかれましては、今年度末でご退任する申し出をいただいております。穴吹委員は平成24年度から14年間、山口委員は令和3年度から5年間と、長期にわたり大変多忙な中、本会への出席並びに貴重なご意見等をいただきまして、改めて厚く御礼を申し上げます。また、他の委員の皆様方におかれましても、今年度の活動に感謝申し上げますと

ともに、再任いただきます方につきましては、引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

「事務局」 ありがとうございます。なお、本日は、10名の委員がご出席されておりますので、会議開催の定足数であります2分の1以上の出席者を満たしておりますことを、ここで報告申し上げます。

それでは、これからの議事進行につきましては、豊川市社会教育審議会規則第4条に基づき、会長のもとで進めていただきたいと思います。それでは、細野会長よろしくをお願いいたします。

「会長」 それでは、議題（1）「第3次豊川市生涯学習推進計画の1年延伸について」事務局から説明をお願いします。

「事務局」

資料1の「第3次豊川市生涯学習推進計画の1年延伸について」に基づき説明。

「会長」 ただいまの説明について、ご質問等がありましたら、ご発言ください。

「委員」 1年延伸後、生涯学習推進計画はどのようになっているか。

「事務局」 令和9年度以降は、資料1に記載のとおり本計画の上位計画である第4期豊川市教育振興基本計画に内包となります。令和8年度に策定する第4期豊川市教育振興基本計画において、生涯学習推進関係の内容を精査し、令和9年度から令和13年度までの5年間の計画を予定しています。今回の延伸は、豊川市教育振興基本計画への内包の伴う1年の空白期間をなくすために、従来の計画を延伸するものです。

（委員：異議なし）

「会長」 それでは、議題（2）「令和8年度教育委員会（社会教育）の予算概要（社会教育関係団体補助事業）及び主要事業について」事務局から説明をお願いします。

「事務局」

資料1の「令和8年度教育委員会（社会教育）の予算概要（社会教育関係団体補助事業）及び主要事業について」に基づき説明。

「会 長」 ただいまの説明について、ご質問等がありましたら、ご発言ください。

「委 員」 音羽運動公園において、デイキャンプ場の火おこし場が崩れている等、改修してほしい箇所が多くあるという声を周りから聞くが、改修予定はないか。

「事務局」 大規模改修の予定はないが、改修予定のない施設は、必要に応じて修繕料の予算で修繕を行っている。ただ、限られた修繕料の中、修繕を行いたい施設は多数あるため、どうしても優先順位が下がっている。また、どの程度まで修繕するかなども検討が必要であると認識している。

「委 員」 市内の小中学校の体育館へのエアコンの設置時期はどうなっているか。

「事務局」 今年度の夏、市長マニフェストの中間見直しがされ、小中学校の体育館とスポーツ施設の武道館への空調設置が決まった。ただ、対象施設数が多く、同時に設置することは難しいため、どのような形で設置を進めていけるか、現在は令和8年度8月頃を目指して、基本設計を進めている。その後、実施設計、改修工事と手続きを進めていく。

「委 員」 御油生涯学習センターの建替工事に2年間の期間を取られているが、その期間、当センターは利用できなくなるのか。

「事務局」 御油生涯学習センターは現在の場所から200メートルほど離れた場所に移転を予定しており、新センターの供用開始後に古いセンターを解体する予定であるので、利用者が利用できない期間はない予定である。

「委 員」 図書館のプラネタリウムについて、定額制を導入とあるが、現在の料金形態や、今後の定額制の金額等を知りたい。

「事務局」 誤解しやすい表記であるが、サブスクリプションのように利用者が定額を支払って、番組を何度も視聴できるというものではなく、利用者の料金は1番組1回310円であり、現状と変更はない。現在、市ではプラネタリウム番組を1本単位で契約しているが、その契約を100種類以上ある番組から1年間に複数選べる定額のプランに変更した。1年間に視聴できる新しい番組が増えるということである。

「委 員」 1ページの社会教育関係団体補助事業、昨年度の同じ予算で変わらないということであるが、昨今物価が高騰している中で同じように運営をして

いくのはなかなか厳しいと思うが、今後増額していくなどの方針はあるのか。

「事務局」 例えば PTA や子ども会では、親御さんの方から負担軽減の声があり、活動の縮小を図っている。増額の要望等は今のところ聞いていないので、現状維持となっている。

「委員」 廃止する子ども会が増えていると聞くが、現状どのような状況か。

「事務局」 単位子ども会数は令和 3 年度が 1 6 7、令和 4 年度が 1 6 2、令和 5 年度、令和 6 年度が 1 5 4 と減少傾向となっている。事務局としては、会員や豊川市子ども会連絡協議会役員の負担を軽減するために、事業の見直しを行ってきた。また、廃止の相談等を受けた際には、近隣の単位子ども会との統合など、なるべく地域での活動が続くようお願いをしている。

「委員」 2 ページの総合型地域スポーツクラブについて、音羽、一宮、小坂井とあり、これに御津が入って、その後、旧豊川の地域になってくる予定はあるのか。将来的に中学校の部活動とも関連すると思うが、その辺の見通しはあるか。

「事務局」 現在の 3 つのスポーツクラブ以外で、別の地域等でスポーツクラブができる予定はない。部活動の地域展開では、これらのスポーツクラブも連携先の一つとして当然入ってくるが、自立自営をしていくスポーツクラブを新たに地域に作るのは難しいと考える。

「委員」 子どもセンター活動補助金に関して、放課後子ども教室の講師になり手がいないと聞いたことがあるが、現状はどうか。

「事務局」 放課後子ども教室は、コロナ禍前は教室数が 100 前後あったが、コロナで減少し、その後元には戻らず、現在 70 程度で横ばいとなっている。講師の方の高齢化が課題であり、コロナを機に活動をやめられた方が一定数いると認識している。事務局では、新規の指導者を開拓するため、様々な関係者に声をかけている。

(委員：異議なし)

「会長」 それでは、令和 7 年度第 3 回社会教育審議会を終了させていただきます。皆様、ありがとうございました。

(午後 3 時 0 0 分 閉会)